

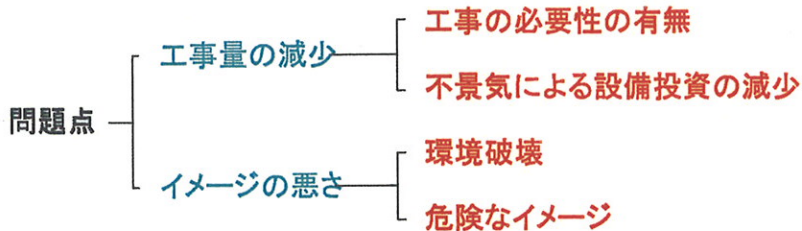
第2班

東急建設(株): 櫻井 努
不動建設(株): 宮田 紀男
大成ロテック(株): 上田 和正

(株)森本組: 吉仲 正樹
(株)熊谷組: 中澤 謙太郎

テーマ: 建設業の未来

序: 現状の建設業界を把握し改善する為に何をすべきか?



工事量の減少

新分野への技術の応用

- ・既存の設備を改良・改善し違う分野への応用(特殊なニーズに対応)
各方面からの情報を収集することにより新たなニーズに対応した機械を開発し、
今までとは違った分野へ進出する
- ・技術力を社外に向け発信し、営業活動を行う
受動的な動きを能動的な動きに変える
我々の持っている技術をあらゆる方面に発信、提案し、新規工事や新分野へ
活用していかなければ成らない

補修・補強・再構築工事の増加

- ・従来の補修・補強・再構築工事をより効率良く行う為の機械等の開発
- ・新素材・新工法に応じた設備の開発
今後はより高深度・高層化(都市型)になるのでコスト削減も視野に入れ、
機械を開発しなれば成らない

イメージの悪さ

環境に対してのアプローチ

- ・振動・騒音・粉塵・臭気・汚水・土壌汚染問題に対応した設備の改善
機械的にはある程度対応しているが機械そのものの対策には限界にきていると
思われる
今後は化学分野への対応する機械やその効果を増進させる物の開発が必要で
環境に優しいさらなる機械を目差ざしていかなければならない

リサイクル資源の応用

現場からゴミを出さない為、使用材料・施工方法・施工機械の提案・開発・実用
省エネルギー化に対してのアプローチ

機械のハイブリット化

排ガスが少ない電気・天然ガス・太陽電池・水素等を応用した動力機関の
開発・採用の検討

高効率機械の開発

機械材料の改良・新素材の応用により、機械重量の軽量化・消費電力の少ない
動力源の採用

作業効率の良い物の開発

安全に対してのアプローチ

- ・さらなる機械の自動化
- ・重機の遠隔操作の多様化

結論:

従来の建設業



さらに

攻撃的、且つ、地球にやさしく!